

報道発表資料の配付日時 9月9日(水) 10時00分

| | | | |
|------------------|---|------|--|
| 発表項目 (行事名) | 令和2年北海道功労賞受賞者の決定について | | |
| 記者レクチャー のお知らせ | (実施日時) | 発表者 | |
| | | 発表場所 | |
| 概要 | <p>○内容 令和2年北海道功労賞の受賞者が決定しましたので、発表します。</p> <p>○配付資料 (1) 令和2年北海道功労賞の概要 (2) 受賞者名簿 (3) 受賞者の写真 (4) 既受賞者一覧(過去5年)</p> <p>※ 受賞者の写真データが必要な場合は、提供いたしますので、人事課サービス制度係にお問い合わせください。</p> | | |
| 参考 | | | |

| | | | |
|-----------------|---|------|--|
| 報道(取材)に当たってのお願い | ○ 道として最高位の表彰である北海道功労賞について、広く道民の皆様にお知らせしたいと考えていますので、積極的な報道をお願いします。 | | |
| 他のクラブとの関係 | 同時配付 | (場所) | |
| | 同時レク | | |

| | | | |
|-------------|--|--|--|
| 担当 (連絡先) | 総務部人事局人事課 サービス制度係 (担当者 山本) TEL ダイヤルイン 011-204-5027 内線 22-156 | | |
|-------------|--|--|--|

令和２年北海道功労賞の概要

1 北海道功労賞の趣旨と制定の経緯

本道の経済・社会・文化等の発展に貢献し、その功労が特に顕著な個人又は団体に贈呈する賞で、知事が行う表彰の中で最高位のものであります。

昭和44年に北海道開発功労賞として制定（平成10年に賞の名称を北海道功労賞と改称）して以来、令和2年（2020年）で第52回目となります。

これまで、功労賞162名、15団体及び特別賞2名が受賞しています。

2 表彰の内容

(1) 受賞者

4名（別添名簿のとおり）

(2) 副賞等

肖像写真（額入り）及び受賞記念バッジなど（未定）

3 贈呈式の日時等

- ・ 日 時 令和2年10月下旬～11月頃（予定）
- ・ 場 所 札幌市内

令和2年 北海道功労賞受賞者名簿

| 氏名 | 生年月日 <年齢> | 主な役職等 | 功績名 | 功績の概要 |
|-------------------|---------------------|---|----------------------------------|---|
| いまい こうぞう 今井 浩三 | 昭和23年1月1日 <72歳> | 元 札幌医科大学理事長・学長 元 東京大学医科学研究所 付属病院長・教授 札幌禎心会病院総長 | がん研究への 貢献と医学教育の振 興 | 日本癌学会会長を務めるなど、国内のがん研究の第一人者として、北海道から世界へ発信する顕著な功績を上げている。 札幌医科大学が公立大学法人化された際の初代理事長として、現在の法人運営の礎を築くと共に、道内医系大学や医薬関係企業との共同研究や地域医療の推進にも尽力し、その研究成果を広く世界の患者に還元するなど、医学研究の発展に大きく貢献した。 |
| こすな けんいち 小砂 憲一 | 昭和21年11月1日 <73歳> | 株式会社アミノアップ代表取締役会長 一般社団法人北海道バイオ工業会会長 北海道経済連合会副会長 北海道ニュービジネス協議会会長 一般社団法人北海道発明協会会長 日本棋院北海道本部理事長 | バイオ産業 の発展と地 域経済の発 展への貢献 | 昭和59年に株式会社アミノアップを創業。北海道の食材を活かしたサプリメントなどの機能性素材は、海外から高い評価を受けている。その経験を活かし、道内のバイオ企業等の新規事業の創出や医学・薬学を研究する学生等への支援を行うなど、本道のバイオ産業の発展に大きく貢献するとともに、北海道の文化・芸術や地域活動への支援など、様々な分野で社会貢献を果たした。 |
| みずこし たけし 水越 武 | 昭和13年5月1日 <82歳> | 写真家 | 写真文化の 発展への貢 献 | 昭和40年から写真家として、日本や世界各地の山岳、森林、熱帯雨林、氷河などを対象に創作活動を続け、国内はもとより海外の美術館や博物館での個展開催や著作を続けてきた。昭和63年に道東の屈斜路湖畔に移住後も精力的に活動を続け、日本の写真文化の振興に貢献したほか、写真を通じて、北海道の自然の魅力を世界に広く発信している。 |
| かいざわ ゆきこ 貝澤 雪子 | 昭和16年2月13日 <79歳> | アットウシ職人 優秀工芸士（(公社)北海道アイヌ協会 指定） | アイヌ文化 振興への貢 献 | アットウシの第一人者として、50年以上にわたりアイヌの伝統的な技法を守りつつも、今までとは異なる手法を取り入れた個性的な作品を制作している。伝統的な着物や帯に加え、名刺入れやコースターなど現代の客の要望にも応じた作品の企画・制作を通じて、アイヌ文化の普及・伝承に大きく貢献した。 |

北海道功労賞受賞者一覧

(平成27年～令和元年)

| | 氏名(年齢) | 受賞の内容 |
|-----------------|---------------------|------------------------------|
| 平成27年 (第47回) | 中村 睦男 (76) | アイヌ施策への貢献 |
| | 三宅 浩次 (81) | 公衆衛生分野・医学教育への貢献 |
| | 安田 侃 (70) | 文化振興の貢献 |
| 平成28年 (第48回) | 喜田 宏 (72) | インフルエンザウイルスの生態解明と対策への貢献 |
| | 嶋宮 勤 (73) | 食文化振興への貢献 |
| | 高向 巖 (77) | 地域経済の発展と社会資本整備推進への貢献 |
| | 【特別賞】 伊藤 義郎 (89) | 産業経済の振興への貢献をはじめ多分野における社会貢献 |
| 平成29年 (第49回) | 佐伯 浩 (76) | 港湾工学・海洋開発の発展への貢献 |
| | 手島 圭三郎 (82) | 芸術文化の振興と地域文化活動の推進 |
| | 似鳥 昭雄 (73) | 小売商業の振興と文化・芸術の振興への貢献 |
| 平成30年 (第50回) | 岡田 淳子 (86) | 学術振興と男女平等参画社会づくりの推進への貢献 |
| | 長瀬 清 (80) | 地域医療の推進と緊急医療体制強化への貢献 |
| | 西村 紘一 (74) | シンガポールにおける北海道の認知度向上・本道への誘客推進 |
| | 藤戸 竹喜 (83) | 芸術文化振興・アイヌ文化振興への貢献 |
| 令和元年 (第51回) | 小原 道城 (80) | 芸術文化振興への貢献 |
| | 故 鷹村 彰禧 (92) | 本道におけるワイン産業振興への貢献 |
| | (公財) 北海道盲導犬協会 | 社会福祉の推進への貢献 |

※ 年齢は受賞時現在の年齢

受賞者決定通知書

| 北海道功労賞 | | | |
|--------|-------|--------------------------|------|
| 市町村名 | 氏名 | 功績の内容 | 公表意志 |
| 札幌市 | 今井 浩三 | がん研究への貢献と医学教育の振興 | ○ |
| 札幌市 | 小砂 憲一 | バイオ産業の発展と 地域経済の発展への貢献 | ○ |
| 弟子屈町 | 水越 武 | 写真文化の発展への貢献 | ○ |
| 平取町 | 貝澤 雪子 | アイヌ文化振興への貢献 | ○ |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |